

わが市わが町 逗子市

自然の回廊プロジェクト



桜を觀つつ SUP で川下り

逗子市は、神奈川県南東部の三浦半島の西側の付け根に位置します。長さは東西に6.96km、南北に4.46km、周囲は21.20km、面積は17.28km²と、県下19市の中で最も小さな市です。

市の北側、東側、南側は山に囲まれ、西側は海（相模湾）に臨んでいます。北側は鎌倉市と横浜市に接し、披露山・大崎・小坪～名越切通～池子の森とつながり、歴史と自然を感じるエリアが広がります。東側は横須賀市との境に鷹取山が、南側は葉山町との境に二子山山系が広がり、ハイキング等のアウトドアを楽しむ人が多く訪れるエリアになっています。



緑豊かな池子の森自然公園

山と海に囲まれた逗子の豊かな自然と、数ある史跡などの歴史・文化に触れる、健康志向の散策・ハイキングコースとして、「自然の回廊」が設定されています。自然の回廊は、全部で8つのコース(逗子海岸回廊、披露山・大崎・小坪回廊、名越切通・まんだら堂回廊、山の根・久木大池回廊、田越川回廊、長柄桜山古墳回廊、沼間・池子回廊、二子山回廊)からなり、距離にして2.4kmから

7.8km、時間にして50分から2時間10分程度(徒歩の場合)で巡れるようになっています。

自然の回廊は、「自然の回廊プロジェクト」として市の総合計画で掲げる重要な事業に位置付けられており、8つの回廊を含め逗子全体を「自然の回廊」と見立て、楽しく安全に歩くための道標やマップ、歴史を学べる案内板を設置する等して、市民や逗子を訪れた人が安らぎ、遊び、憩える場所として整備していくこととしています。現在、マップと案内板の整備を進めています。マップは、観光スポットや年中イベント等の情報も含めた最新版を作成中で、令和2年度中に完成予定です。案内板は、6回廊まで整備が進んでいます。

自然の回廊プロジェクトは、市民との協働により実施しています。まちづくりボランティア団体から発足した「自然の回廊プロジェクトメンバー」が定期的に集まり、マップ

の制作、まちの魅力発掘、案内板の内容整理等を、市と連携しながら行っています。また、未病対策と自然の回廊を掛け合わせた取り組みとして、市主催イベント「未病×自然の回廊ウォーキング」を、平成30年度から実施しています。自然の回廊プロジェクトメンバーと市の保健師が講師として同行し、歩きながら回廊沿いの魅力スポットを紹介したり、歩く前の血圧チェックや準備運動を実施したりと、健康増進を図りながら逗子の自然と歴史・文化を知るイベントとなっています。(令和2年度はコロナのため中止)

コンパクトなまちの中で市街地と森林が近接していること、都内から1時間でアクセスできる利便性等を活かし、市民や逗子を訪れる人が、豊かな緑の恵みを身近に感じ心地よく体感できるよう、引き続き取り組んでまいります。(逗子市 経済観光課)



山桜が美しい桜山の丘陵